

まちづくり交付金 事後評価シート
富山市中心市街地地区

平成23年11月

富山県富山市

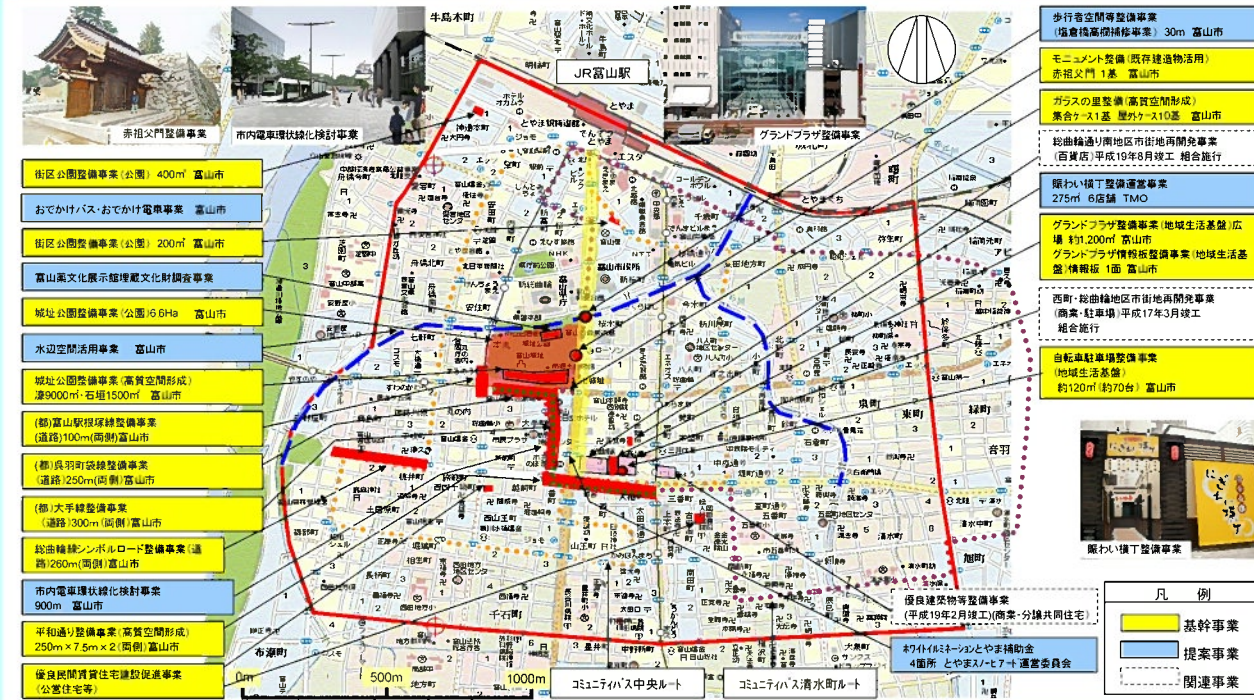
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	富山市		地区名	富山市中心市街地地区			面積	385ha		
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	5,755百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(城址公園)、地域生活基盤施設(グランドプラザ、グランドプラザ情報板整備、自転車駐車場整備)、高質空間形成施設(城址公園(濠)、城址公園(石垣)、平和通り、ガラスの里整備)、公営住宅等整備										
		提案事業	おでかけバス事業、タウンモビリティ試行運行事業、来街者利便性向上調査事業、ガラスの里推進事業、郷土博物館整備事業、歩行者空間等整備事業、公共空間活用事業、都心居住推進事業、城址公園整備事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(総曲輪線、大手線、呉羽町袋線、富山駅環線)、公園(新枝町公園、神通本町)、地域生活基盤施設(外国語表示観光案内板)、既存建築物活用事業			事業期間内に事業の熟度が高まったため、新たな事業を追加した			道路事業:指標5を追加。当初計画よりも事業の進捗が遅れ、路面電車環状線化事業の計画期間内の完成が困難となったため、指標5における数値目標を20%増から現状維持に修正。				
提案事業		消雪装置設置事業、まちなか再生推進事業、低未利用地活用推進調査事業、おでかけ電車事業、水辺空間活用事業、ICカード利用拡大事業、ホワイトミネーションとま補助金、城址公園整備事業、都市再生整備計画事業効果調査事業、市内電車環状線化検討事業、賑わい横丁整備運営事業			事業期間内に事業の熟度が高まったため、新たな事業を追加した			市内電車環状線化検討事業:指標5を追加。当初計画よりも事業の進捗が遅れ、路面電車環状線化事業の計画期間内の完成が困難となったため、指標5における数値目標を20%増から現状維持に修正。					
交付期間の変更	当初	なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	中心商店街の歩行者通行量	人/日	9,205人/日(日曜日)	平成15年(商工会議所調査)	11,046人(20%増)	平成20年	モニタリング	評価値	△	あり	H18.3月の大型店舗の閉鎖により歩行者数は大幅に減少したが、その後は、グランドプラザや総曲輪フェリオ開業などにより、歩行者数が増加傾向となっている。	確定値
	指標2	対象地区の小売金額	億円/年	948億円/年	平成14年(商業統計調査)	1,043億円(10%増)	平成19年	—	791億円	△	あり	目標は達成できなかったが、小売金額の減少幅は縮小しており、賑わいづくりに関連する事業については、一定の効果があったと考えられる。	H25.10
	指標3	対象地区の居住人口	人	21,020人	平成16年4月(住民登録人口)	21,020人(現状維持)	平成20年	—	20,672人	△	あり	集合住宅などの良質な住宅の供給が進んだことや、歩道・公園などの居住環境の整備が進んだこと、さらにはまちなか居住推進事業の効果などにより転入者が増加している。	確定値
	指標4	コミュニティバスの年間利用者数	人/年	210,015人/年(中央98823、清水111192)	平成15年(TMO調査)	252,018人(20%増)	平成19年	—	237,663人/年	△	あり	従前から利用者が増加しており一定の事業効果はあったが、さらに新規利用者を取り込むような施策がなかったため、利用者数は目標まで増加しなかった。	確定値
	指標5	路面電車の乗降者数	人/日	10,066人/日	平成16年(富山地方鉄道)	10,066人(現状維持)	平成20年	—	10,251人/日	○	あり	市内電車環状線やグランドプラザ、総曲輪フェリオの開業などにより、乗降者数が増加に転じた。	確定値
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	中心商店街の空き店舗数	件	44	平成16年3月(空き店舗情報センター)	—	—	—	39(H22.4)	△	あり	総曲輪フェリオやグランドプラザ等の集客施設(賑わい拠点)を一定のエリア内に整備したことにより、総曲輪地区及び西町地区の空き店舗数の減少に寄与した。	確定値
その他の数値指標2	都心地区の定住人口の減少率	%/5年間	5.4	平成17年～平成19年(住民登録人口)	—	—	—	2.5(H16～H21)	△	あり	都心地区の定住人口の減少率は縮小しており、まちなか居住関連施策の一定の成果はあったと考えられる。	確定値	
4)定性的な効果発現状況	・市民を対象としたまちづくりセミナーの応募者数が定員を超え、参加者の出席率も非常に高いなど、まちづくりに対する市民の意識が高まった。・平成16年には中心商店街の空き店舗が目立ち、商店街自体も閑散とした状態であったが、まちづくり交付金事業等により複数の集客施設が誕生したことから、空き店舗数の減少や人通りの増加など、商店街自体が目に見えて活気付いた。また、商業者による店舗への投資が見受けられるなど、地元商業者の意欲も高められている。・グランドプラザの誕生により、中心市街地に市民の滞留拠点が整備され、市民のまちなかにおける滞在時間が増加した。・グランドプラザでは積極的にイベントが開催されているため、市民の来街機会が以前よりも増加するなど、街なかに対する愛着が増しているといえる。・事後評価を機として横断的な検討体制が庁内に構築されたことにより、まちづくりに対する課題や改善点について庁内での共通認識が得られるなど、まちづくりに対する庁内の意識が高められた。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					なし		
	住民参加プロセス	市民を対象にしたまちづくりセミナーの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	引き続き、まちづくりセミナーの開催を継続する。	
	住民参加プロセス	グランドプラザ活用委員会の設立				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	グランドプラザ運営協議会が設立された現在では、運営協議会の主体的な活動にまかせる。	
持続的なまちづくり体制の構築	グランドプラザ運営協議会の設立				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	運営協議会の維持・継続に努め、グランドプラザの活用方策等の検討に取り組む。		

様式2-2 地区の概要

富山市中心市街地地区(富山県富山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
・中心市街地の活性化 ・人口定着、交流機能強化による均衡のとれた地域振興 ・交通網の整備改善に伴う地域づくり	中心商店街の歩行者通行量	単位:人/日	9,205(日曜日)	H15 11,046(20%増)	H20 6,232	H21
	対象地区の小売金額	単位:億円/年	948	H14 1,043(10%増)	H19 791	H20
	対象地区の居住人口	単位:人	21,020	H16 21,020(現状維持)	H20 20,672	H21
	コミュニティバスの年間利用者数	単位:人/年	210,015 (中央88823、清水111192)	H15 252,018(20%増)	H19 237,663	H22
	路面電車の乗降者数	単位:人/年	10,066	H16 10,066(現状維持)	H20 10,251	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 「来街者の増加」は、依然として本地区の大きな課題の一つであるが、これまで続いてきた公共交通利用者数の減少に歯止めがかかる兆しが見えてきた(コミュニティバス利用者数の増加、路面電車乗降者数の減少幅の縮小など) 「賑わいの維持・魅力創出」も、依然として本地区の大きな課題の一つであるが、特にGrand Plazaや賑わい横丁等の整備により、まちの賑わいが萌芽しつつある 「人口の定着化」も、依然として本地区の大きな課題の一つであるが、居住人口の下げ止まりの兆しが見えてきた(当該地区の居住人口の減少幅の縮小)
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> おでかけバス事業・おでかけ電車事業の利用を促進し、さらに地区外からの来街者の増加・高齢者の外出頻度の向上を図る 現在整備中の市内電車環状線化関連事業の推進、不足している駐車場の整備等により、地区内の交通利便性の向上を図る スポット的に整備した拠点施設を活用し、賑わいの維持を図る 本市の一大観光拠点である城址公園の整備促進、文化資源を活かした拠点整備、市民の交流の場の確保等により、賑わいの面的な拡大を図る 住宅・住環境の質的な向上、都心居住施策のPR、事業初動期の民間支援事業等の検討により、さらなる都心居住の推進・人口定着を図る